

いずみさの教育

NOW

問合先
学校教育課
☎493-2091

「なぜ、勉強しないといけないの?」

子どもたちは一日の多くを学校で過ごします。そして、その大半の時間は学習の時間です。いろいろな教科があるとはいえ、毎日毎日学習を続けていくうちに、子どもはこんな疑問を抱きます。「なぜ、勉強しないといけないの?」と。

この問いは教育の本質をつく、すばらしい問いです。この問いにどれだけ応えられるかが先生のやりがいであり、悩みの種でもあります。「将来のため!」では、子どもは決して納得しないのです。

泉佐野市では「生きてはたらく力」を身につけることを目標に各学校で授業が展開されています。「生きてはたらく力」とは簡単にいうと、身につけた力をいろいろな場面で応用を利かせて使いこなせる力のことです。例えば、社会科の歴史で年号や人物名、出来事の名前をひたすら暗記した記憶はないでしょうか。そして、その知識が

生かされた場面はどんな場面でしょうか? 暗記した知識が必要ないということではありません。しかし、それだけでは、答えが一つでない問題や課題に対して耐えうるものが難しいのも事実です。

「今、勉強していることは大人になって使うことはない。」と子どもがつぶやくならば、1の知識を1のまま使っている姿を想像しているでしょう。持っている知識を結びつけ、関連づけていくことで1の知識が5にも10にもなると、答えの見えやすい課題を解決していくのだと思います。「将来のため!」の具体の姿はここにつながってくるのです。

これからも泉佐野市の教育は子どもたちの「なぜ、勉強しないといけないの?」の問いにしっかりと向き合いながら、生きてはたらく力の育成を実践していきます。



学校園紹介



なぜ学ぶか? ~勉強をする理由~ ~佐野中学校~

なぜ学ぶか

~勉強をする理由~

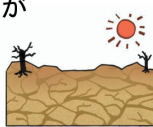


2026年4月9日(木)
1限全校集会

コップの中の
水が教えて
くれること



社会
水の旅が
見える



「学びには、卒業も終わりもありません。人は生きている限り、いつでも学び、成長していくものです。今、中学生だから…ではなく、これから先も学び、成長し続けてほしいと思います。」と学力向上委員会からのメッセージが伝えられ、本校の教育目標『一生モノの「学ぶ心」を「磨き上げる」3年間』への第一歩を踏み出した集会となりました。

本校では年度当初の全校集会で、学力向上委員会より「なぜ学ぶか?」について話がありました。

子どもたちが思いつきそうな「ほめられる」「怒られる」「いい点とりたい」「受験のため」などが示されたのち、「学ぶことでこんなことができるようになるよ」と、水を例に挙げて本校の教育目標について説明がありました。数学を学ぶことで水の量が分かる、理科を学ぶと水の正体が変わる、社会を学ぶと水の旅が見える、美術を学ぶと水を美しく見ることができるとの例が紹介されました。それぞれの教科を例に挙げ、最後に国語を学ぶことでこの話がちゃんと伝わる、と締めくくられました。

未来を切り拓く「心」と「力」を ~中央小学校~

本校は、大阪府教育庁事業「情報活用能力をはぐくむモデル校」に指定されて2年目を迎えました。昨年度の取組を更に発展させるべく、今年度は「豊かな心と確かな学力の育成 ~考えをわかりやすく伝えるための情報活用能力の育成~」を学校教育目標に掲げています。

AIが劇的に進化し、1年先でさえ予測困難な時代だからこそ、私たちはいつの時代も変わらない価値である「不易」と、時代の変化に合わせて取り入れるべき「流行」の両方を大切にしています。

情報の真偽を見極め、デジタルツールを賢く使いこなして「自分の思いを相手の心に届くように伝える力」は、この正解のない時代をたくましく切り拓く大きな糧となります。しかし、その根底には、AIには決して真似できない「豊かな心(人との直接の触れ合いの中で育まれる共感力や他者を思いやる心)」が不可欠です。

創立45年の伝統を礎に、教職員が一丸となって子ども一人ひとりの可能性に寄り添い、未来への確かな一歩を育ててまいります。

